

- 問1 静岡県では製紙・パルプ工業が全国有数の規模で発展していますが、富士市周辺でこの産業が発達した主な理由として、地形や自然環境の観点から説明したものととして適切なものはどれですか。（2023年 千葉県公立入試 類似）
- 大規模な水力発電所が集中しており、アルミニウム精錬に必要な安価な電力が得られたため。
  - 富士山の豊富な伏流水（地下水）が利用可能であり、原料の運搬に便利な港にも近かったため。
  - 原料となる良質な粘土が大量に採掘でき、古くから陶磁器の生産が盛んだったため。
  - 台地が広がり、小麦の栽培に適していたことから、加工食品の製造が発達したため。
- 問2 北陸地方は日本海側に位置し、冬には季節風の影響で非常に多くの降雪量が見られます。このような自然環境のもとで、江戸時代以来の伝統技術や地元の原材料を活用した産業が発達した背景として、最も適切な説明はどれですか。（2019年 滋賀県公立入試 類似）
- 豊富な雪解け水を工業用水として活用するため、冬の期間に限定して大規模な化学工業が行われた
  - 冬の間は積雪により農作業が困難になるため、農家の副業として手仕事による工業が盛んになった
  - 冬の強い季節風をエネルギー源とした大規模な機械工業が、江戸時代から沿岸部で発達した
  - 広大な平野部において、冬でも温暖な気候を活かした二毛作が行われ、その加工品製造が広まった
- 問3 東海道新幹線が結ぶ「東名阪（東京・名古屋・大阪）」の三大都市圏において、静岡県と岐阜県に挟まれた地域に位置し、中部地方の経済や交通の要所となっている都道府県を選択してください。（2018年 群馬県公立入試 類似）
- 滋賀県
  - 岐阜県
  - 静岡県
  - 愛知県
- 問4 中部地方の各県の統計において、愛知県よりも人口規模が小さく、日本海側に位置する石川県の特徴について述べたものとして正しいものはどれですか。農業産出額の主要品目に着目して答えなさい。（2023年 埼玉県公立入試 類似）
- 内陸部に位置するため、米の生産は行われず、果実の産出額が県全体の9割を占めている。
  - 中部地方で最も人口が少ない県であり、米の産出額が全国で最も高い。
  - 愛知県よりも人口が多く、農業産出額のほとんどが畜産によって占められている。
  - 米の生産が盛んな地域であるが、産出額の構成において果実も一定の割合を占めている。
- 問5 2019年時点の統計によると、静岡県の茶の栽培面積17,100ヘクタールのうち機械導入面積は10,194ヘクタールであるのに対し、鹿児島県は栽培面積8,430ヘクタールのうち機械導入面積が8,024ヘクタールに達しています。このデータから読み取れる、鹿児島県の茶栽培に関する説明として正しいものはどれですか。（2020年 広島県公立入試 類似）
- 機械化が遅れているため、生産には多くの熟練労働者の手を必要としている
  - 栽培面積の大部分で機械化が進んでおり、生産の効率化が図られている
  - 栽培面積に対する機械化の割合は、静岡県よりも低い水準に留まっている
  - 静岡県よりも栽培面積が広いため、機械導入面積も全国で最大である
- 問6 日本の菊の産出額割合を示した統計資料において、全国の約37パーセントを占めて第1位となっており、夜間に数多くの電球を点灯させる電照栽培が盛んな地域として知られる都道府県を選んでください。（2026年 埼玉県公立入試 類似）
- 静岡県
  - 千葉県
  - 愛知県
  - 沖縄県
- 問7 かつて藩主が文化振興に力を入れた歴史的背景を持ち、現在も加賀友禅や金沢箔、そして能登半島の「輪島塗」など、多くの伝統的工芸品が生産されている都道府県を選びなさい。（2019年 北海道公立入試 類似）
- 岐阜県
  - 石川県
  - 福井県
  - 富山県
- 問8 ある県の人口統計において、人口密度が1平方キロメートルあたり4638.4人と突出して高く、昼夜間人口比率も104.4%と100%を上回っています。また、2000年から2020年にかけて人口が約3万3千人増加している場合、この地域の人口動態に関する記述として正しいものを選びなさい。（2025年 福岡県公立入試 類似）
- 中心都市に経済や教育の機能が集中しており、昼間の活動人口が夜間の常住人口よりも多い状態にある
  - いわゆる「ベッドタウン」としての性質が極めて強く、昼間は多くの住人が近隣の他県へ通勤・通学している
  - 山間部を中心とした過疎化が深刻な課題となっており、若年層の流出によって夜間の人口密度が低下している
  - 広大な農地を活かした第1次産業が中心であり、他地域からの人口流入はほとんど見られない
- 問9 新潟県の工業において、化学工業と食品工業の出荷額割合が高い背景を説明したものととして、最も適切な内容を選択してください。（2026年 三重県公立入試 類似）
- 中京工業地帯の延長として自動車産業が拡大し、関連する化学素材の供給と労働者向けの食料供給が定着したため
  - 高速道路網の整備により、内陸部に電子部品の工場が進出し、それらを活用した食品包装機械の製造が盛んなため
  - 大規模な水力発電による安価な電力を利用したアルミニウム製錬と、果実栽培を活かした飲料製造が結びついたため
  - 沿岸部の石油化学コンビナートによる製品製造に加え、豊かな農産物を原料とした加工業が発達しているため
- 問10 近代日本の長野県において、製糸業が地域の主要な産業として発展した背景や地理的要因を説明したものととして、最も適切なものはどれですか。（2018年 神奈川県公立入試 類似）
- 水田に適さない山間部の傾斜地などを活用して、原料となるカイコの餌の栽培と養蚕が行われたから。
  - 鉄道網の整備により、日本海側から運ばれる石炭を燃料とした重化学工業が内陸部で発展したから。
  - 冷涼な気候を利用した茶の栽培が盛んになり、輸出用の茶葉を加工する拠点として発達したから。
  - 外国から輸入した安価な綿花を加工し、大量の綿織物を輸出するための大規模な工場が集まったから。
- 問11 長野県白馬村における2015年から2019年にかけての外国人観光客の延べ宿泊者数の動向について、統計上の変化を説明したものととして最も適切なものを次の中から選びなさい。（2022年 神奈川県公立入試 類似）
- アジア地域からの延べ宿泊者数は、増加の割合においてオセアニア地域を大きく上回り、全地域の中で最も高い成長率を記録している。
  - 2015年と比較して2019年は調査された全地域で宿泊者数が増加しており、特にオセアニアからの宿泊者は5万件台から17万件台へと3倍以上の大幅な伸びを見せている。
  - ヨーロッパからの延べ宿泊者数は、2015年から2019年にかけての5年間で、前年を下回ることなく毎年連続して増加し続けている。
  - 調査が開始された2015年時点において、アジア、北アメリカ、ヨーロッパ、オセアニアの全地域を合計した延べ宿泊者数は、すでに15万人を超えていた。
- 問12 岐阜県などの林業が盛んな地域では、人工林の管理において、立木の一部を伐採して樹木の間隔を広げる作業が行われます。日光が地面に届くようにすることで、残された木を健全で大きな木に育てるために行われるこの作業の名称として正しいものを選びなさい。（2017年 鹿児島県公立入試 類似）
- 間伐
  - 植林
  - 下刈り
  - 皆伐